

1 はじめに

芦北水俣郡市中体研は、山田哲郎会長を中心に学校数8校、体育担当者9名で研究を進めてきた。昨年度、第48回熊本県中学校保健体育研究発表大会（芦北水俣大会）を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため予定していた研究を進めることができなかった。そこで今年度の研究テーマも昨年度に引き続き「わかってできる保健体育の在り方～一人一人が考えをもって、仲間と関わりながら取り組む学習をめざして～」とし、継続し研究を行った。

2 活動状況（郡市）

会議	期日・場所	内容
1 第1回研究会	5月11日（火） 水俣市立袋中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・役員選出 ・研究主題決定 ・年間研究計画の立案 ・授業者決定
2 第2回研究会	8月2日（月） 芦北町立田浦中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・九州中学校保健体育研究大会発表原稿確認 ・授業研究会（11/4）学習構想案検討 ・ICTを活用した授業づくりについて 講師：山江中学校 教頭 中野浩二様 ・実技研修：夏期研修の復講 指導者：湯浦中学校 東幹太講師 緑東中学校 草野柊講師 <p>※終日開催の予定だったが、急きよ午前中開催となり、実技研修復講は各自DVD視聴となった。</p>
3 第3回研究会	11月4日（木） 芦北町立湯浦中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・参観の視点確認 ・研究授業 【領域】球技 ゴール型「バスケットボール」 【授業者】湯浦中学校 東 幹太講師 ・授業研究会

3 研究授業及び授業研究会

（1）研究授業

【領 域】 球技 ゴール型「バスケットボール」

【学 年】 3年1組

【授業者】 芦北町立湯浦中学校 東 幹太 講師

（2）授業研究会

テーマ：「わかってできる 保健体育の在り方～」

～一人一人が考えをもって、仲間と関わりながら取り組む学習をめざして～



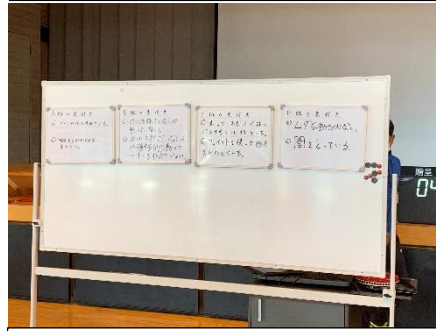
「めあて」の確認



タブレットで動きを理解する



自身・仲間の動きを分析

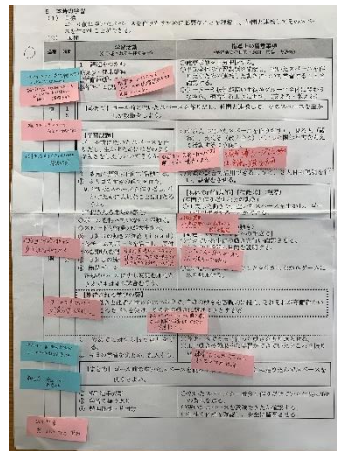
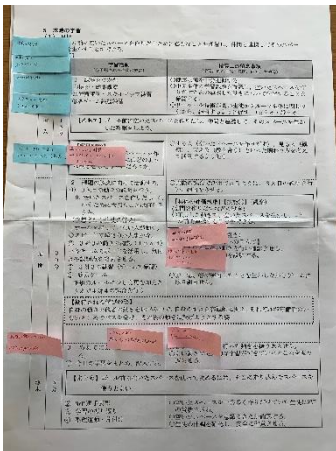


気づきを他の班と共有

(3) 班別協議

視点：客観的に自分や仲間の動きを認知し、学び合うための工夫

(ICTの活用、学習カードの活用、技能ポイントの示し方等)



気づき等

- ・ 苦手な生徒も興味を持って取り組むことができるように場の設定・工夫が随所に感じられた。
- ・ 学習カード、体育授業のチェックリストなど、1時間ごとの評価・振り返り等を丁寧にされており、とても参考になった。
- ・ ICTの活用は、活用の場面や一人1台か班で1台かなど、実践を出し合い、活用の精選がこれからの課題だと感じる。

4 まとめ

昨年度できなかった、研究授業を行うことができたことはとても大きい。実際に授業での生徒の様子を見ることで、気づきも多くその後の授業研究会の充実を感じた。また、現在の研究の取り組みは今年度で3年目となるが、それぞれ体育担当がしっかりとテーマに添って継続して授業改善を図っていることが授業研究会の様子から伝わってきた。

今年度より、生徒一人1台タブレット端末が導入された。しかし、教育支援ソフトを使う体育担当者も少なくなかったため、第2回の研究会では、ICT活用の先進校である山江中学校の中野教頭先生を講師に招き、研修を行った。山江中学校のこれまでの実践はとても参考となった。また、各学校実践や課題等も出し合う機会となり、その後の実践に生かすことができた。